

■ コメント

1. 感染性胃腸炎

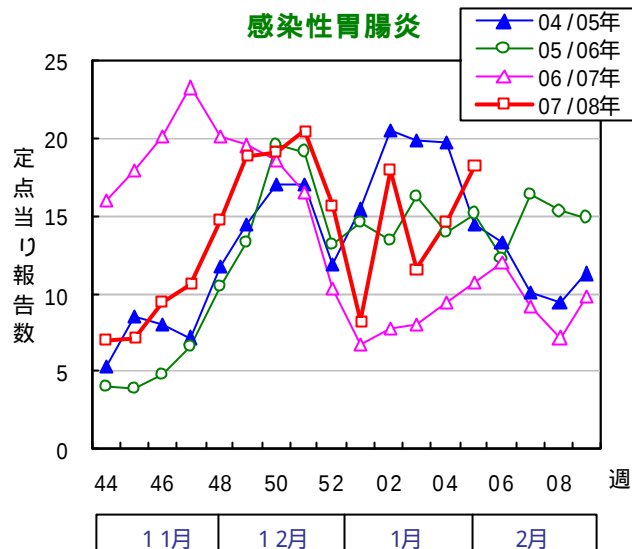
定点当り18.2人とやや増加し、例年同時期と比べてかなり多くなっています。安芸区38.5人、安佐北区24.7人、西区22.3人、佐伯区20.7人と特に多く、その他の区でも多くなっています。また、感染性胃腸炎の集団発生も続いており、注意が必要です。

2. インフルエンザ

定点当り12.0人とほぼ横ばいで推移していますが、注意報レベル(定点当り10.0人)を超えており、多い状態が続いています。安芸区22.0人、南区18.6人、東区12.0人、安佐北区10.8人と注意報レベルを超えています。また、前週比は南区で2.11、安佐南区で1.95と高くなっています。

3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り1.63人とやや増加しています。佐伯区では4.0人と特に多く、東区3.7人、安芸区2.5人となっています。



■ 5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	444	12.00	21.20	⇒	ヘルパンギーナ	-	-	0.02	
咽頭結膜熱	6	0.25	0.27		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.95	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39	1.63	1.60	⇒	RSウイルス感染症	9	0.38	0.16	
感染性胃腸炎	437	18.21	12.67	⇒	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	37	1.54	2.07	⇒	流行性角結膜炎	4	0.50	0.88	
手足口病	12	0.50	0.18	↓	細菌性髄膜炎	-	-	0.06	
伝染性紅斑	2	0.08	0.25		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
突発性発しん	11	0.46	0.61		マイコプラズマ肺炎	5	0.71	0.14	
百日咳	-	-	-		クラミジア肺炎(注3)	-	-	-	

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1.2以上の増減

増減 ⇨ ⇩ 前週と比較しておおむね1.15～2の増減

微増減 ⇨ ⇩ 前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減

横ばい ⇨ ⇩ ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1) 過去5年間(RSウイルス感染症は4年間)の同時期平均(定点当り)
(注2) 鳥インフルエンザを除く
(注3) オウム病を除く

■ 1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	3	18	男性(40歳代)1人、男性(50歳代)1人、男性(80歳代)1人
4	レジオネラ症	2	2	男性(60歳代)、男性(80歳代)
5	アメーバ赤痢	1	2	男性(60歳代)

■ 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

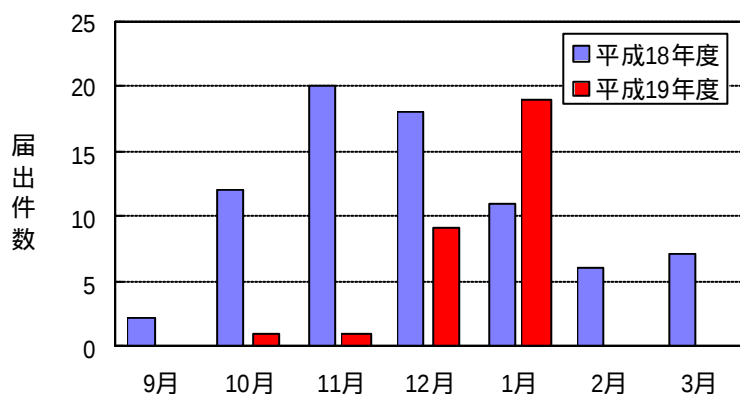
		インフル エンザ (注1)	咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎 (注2)	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第1週	70	4	4	198	36	4	1	5	-	-	1	2	-	3	-	-
		第2週	177	18	37	431	66	4	6	24	1	-	1	22	-	4	-	-
		第3週	223	4	29	278	31	19	8	19	1	-	3	21	-	3	-	-
		第4週	407	13	28	350	52	27	5	11	1	-	8	-	5	-	4	-
		第5週	444	6	39	437	37	12	2	11	-	-	1	9	-	4	-	-
定点 当り	広島市	第1週	1.89	0.17	0.17	8.25	1.50	0.17	0.04	0.21	-	-	0.04	0.08	-	0.38	-	-
		第2週	4.78	0.75	1.54	17.96	2.75	0.17	0.25	1.00	0.04	-	0.04	0.92	-	0.50	-	-
		第3週	6.03	0.17	1.21	11.58	1.29	0.79	0.33	0.79	0.04	-	0.13	0.88	-	0.38	-	-
		第4週	11.00	0.54	1.17	14.58	2.17	1.13	0.21	0.46	0.04	-	-	0.33	-	0.63	-	-
		第5週	12.00	0.25	1.63	18.21	1.54	0.50	0.08	0.46	-	-	0.04	0.38	-	0.50	-	-
全国		第3週	9.35	0.18	1.45	8.32	1.50	0.16	0.20	0.60	0.02	0.03	0.24	0.49	0.02	0.56	0.02	0.36
		第4週	15.27	0.21	1.89	9.19	1.96	0.18	0.17	0.58	0.02	0.03	0.23	0.51	0.01	0.59	0.01	0.38

(注1)鳥インフルエンザを除く (注2)オウム病を除く

■ 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	18	女	2007/12/21	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	1	女	2007/12/21	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	7	男	2007/12/24	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	10	男	2007/12/25	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	60	女	2008/01/16	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	30	男	2008/01/24	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
チアノーゼ発作	0	男	2007/11/18	糞便	コクサッキーウイルスA16型
咽頭結膜熱	1	男	2007/10/01	咽頭拭い液	パレコウイルス
咽頭結膜熱	0	男	2007/11/01	糞便	エンテロウイルス
咽頭結膜熱	0	男	2007/11/13	咽頭拭い液	ライノウイルス
咽頭結膜熱	1	男	2007/12/06	咽頭拭い液	RS ウイルス
気管支炎	0	男	2007/10/05	咽頭拭い液	エンテロウイルス
多形紅斑 中耳炎	1	男	2007/11/14	咽頭拭い液	ライノウイルス

【参考】広島市における感染性胃腸炎集団発生の月別報告数 (2008年1月31日現在)



感染性胃腸炎の集団発生の原因はほとんどがノロウイルスによるもので、平成19年9月以降届出のあった30件のうち、1月の2件を除く28件がノロウイルスによるものです。

月別発生件数は、10、11月とそれぞれ1件の報告でしたが、12月は9件と急増し、1月もさらに増加して19件(うち17件がノロウイルスによる)報告されています。

ノロウイルスは感染力が強く、少量のウイルスでも感染しますので、学校・保育園・福祉施設などの集団生活の場では、集団発生を引き起こしやすいといわれており注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2008年第5週(1月28日～2月3日)